

2024年度新規採用予定者内定式について

2023年10月2日
公益財団法人鉄道総合技術研究所

公益財団法人鉄道総合技術研究所（以下、鉄道総研）は2023年10月2日（月）10時00分から、国立研究所において、2024年度新規採用予定者内定式を行いました。

内定式では、渡辺郁夫理事長が新規採用予定者22名に内定通知書を渡しました。



写真 内定通知書を受け取る内定者

理事長挨拶

本日、皆さんに鉄道総研への内定をこのように対面で通知できたことをうれしく思います。

皆さんが来年4月から研究開発などの対象として取り組む「鉄道」は、新型コロナウイルス感染症の影響などにより大きく打撃を受け、また、鉄道を利用するお客様のその利用の形態も大きく変わりました。しかし、鉄道を利用するお客様の数も着実に回復しつつあり、鉄道の重要性、必要性は依然変わるものではありません。一方、鉄道を取り巻く環境は、ポストコロナ時代の社会情勢の大きな変化、少子高齢化に伴う労働人口の減少、AIやデジタル技術の飛躍的な進歩、激甚化する自然災害、2050年カーボンニュートラルに向けた取り組み等々、大きく変化し、我々が取り組むべき課題はたくさんあります。この環境下において、鉄道を維持・発展させていくため、鉄道総研はこれらの課題解決に向けて、関連する研究開発や様々な活動を全力で取り組んでいます。来年4月からは皆さんと力を合わせ、さらにこれらの活動を加速させていきたいと思えます。

鉄道総研は、日本では唯一の鉄道技術の基礎から応用までを扱う、そして幅広い技術分野を扱う研究所です。研究にじっくりと取り組める環境があり、鉄道の将来に直接的に貢献でき、且つそれを実感できる魅力もあります。この鉄道総研において、皆さんが「夢」や「目標」の達成に向けて、伸び伸びと活躍されることを期待します。

内定式にあたり、私から皆さんに3つのことをお願いしたいと思います。

まず1つ目は、修士論文、博士論文の仕上げに全力で取り組むとともに、皆さんの専門分野の基礎をしっかりと身に付けて頂きたいと思います。

2つ目は、大学での研究、あるいは日常生活においても、「デジタル技術による革新」いわゆるDXや、地球温暖化対策のための「グリーントランスフォーメーション」いわゆるGXといった視点を常に意識して頂きたいと思います。そして世界の大きな流れ、方向性にも目を向けて欲しいと思います。

そして3つ目は、鉄道を利用する際、あるいは鉄道に関するニュース等に接した際に、技術的な課題や改善すべきことはないか、それを解決するために自分はどんな貢献ができるかなども、今から意識するようにしてほしいと思います。

鉄道総研は皆さんの若い力と感性を必要としています。来年の4月から、皆さんとともに仕事ができることを楽しみにしています。



写真 挨拶する渡辺理事長